

あいあいっうしん

No. 486
2018 (平成 30)
10. 13

編集 京都ライトハウス
視覚支援 あいあい教室
TEL : 075-462-4462
FAX : 075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

大型台風が去った後は、再び秋雨の週末が続き、また暑さが戻り…と本当に気まぐれな空模様が続いています。それでも日ごとに夕暮れが早くなり、暗くなる頃の窓辺はひんやり。鈴虫の鳴き声がリーンリーンと響いては、ふと止むくり返しに、心地良い秋の夜長を感じるようになってきました。

子どもたちはすがすがしい空の下、近くの公園へ。室内とはまた違う挑戦や楽しみにめいっぱい触れながら、それぞれの成長を実感するひととき。そんな実りの秋が運んでくれる豊かな時間をゆっくりと味わいたいものですね。

それでは、今月のっうしんをお届けします。

10月の予定

- 17日(水) グループ遠足(宝ヶ池)
- 18日(木) ひよこクラブお遊び会(14:45~16:00)
三者連絡会(アイリス・盲学校・あいあい)
- 19日(金) グループ遠足(植物園)
- 23日(火) グループ遠足(植物園)
- 25日(木) グループ遠足(宝ヶ池)
- 30日(火) 洛陽保育園との交流(午前: 保育園でリズム遊び/保護者参観)



※グループ遠足の詳細は、別紙案内でご確認ください。

<実習生の受け入れについて>

10月15日(月)~11月中旬までの間、介護等体験実習生を受け入れます。
ご理解の程、よろしく願いいたします。

ライトハウスの予定

10月28日(日)「京都ライトハウスまつり2018」
(10:00~16:00 京都ライトハウス全館)

「京都ライトハウスまつり2018」のご案内

今年も恒例の京都ライトハウスまつりを開催します。当日はたくさんの模擬店や体験コーナー、触る絵本の展示もあります。どなたでもお越しいただけるおまつりです。ぜひ、ご家族で遊びに来てください！

日 時：2018年10月28日（日）10：00～16：00

（模擬店 11：00～15：00、売り切れ次第終了）

会 場：京都ライトハウス全館 ※小雨決行

（駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください）



催し内容

模擬店は、バラ寿司・蒸しまん・手作りパン・飲み物など…他にも色々。“見えないこと”体験や点字体験、船岡老人クラブハウスの発表会など、盛りだくさんです。その場で景品が当たるお楽しみ抽選会もあります！

お手伝い募集しています！

あいあいは、今年も大人気の“焼きそば屋”をします。当日のお手伝いに協力いただける方は、保護者室の参加表にご記入をお願いします。

10月生まれのおともだち おたんじょうびおめでとう

Y さん

3 歳になります

おあつまりでするお歌や手遊びが大好きで、いつもニコニコのYちゃん。お母さんと離れるときは大泣きしていたけれど、少し前からバイバイができるようになりました。給食もパクパク食べて、お着替えや歯磨きも自分で挑戦！ひとつずつ一緒に経験を重ねて、楽しい遊びをたくさん見つけていこうね。

N さん

3 歳になります

手つなぎで、プレイルームをご機嫌で歩くNくん。笑顔で「ふ～ん！」と声を出して嬉しそう。館内探検では、手すりや壁をトントンしたり友だちと手をつないで少し歩いたね。遊んだ後は、給食の時間。スプーンを持って自分で口に運ぶようになってきたよ。たくさん食べておいしかったね！

先生やお友だちと遊ぶのが大好きなKちゃん。春に出席ノートの表紙作りをした時は、「あか！」と好きな色を選んで、「パパ！」とお絵かきを楽しんでいたね。この秋に弟が生まれて、お姉ちゃんになったKちゃん。今はあいあいをお休みしているけれど、また一緒に遊ぶのを楽しみにしているよ♪

9月

あいあい療育風景 ●○秋野菜の種まき○●

9月初め、今年も年齢の大きいお友だちを中心に、“ピッコロ人参”と“ミニ大根”の種まきをしました。まずは本物の人参や大根を観察。「どんな形かな?」「何色かな?」と一人ずつ触ったり、拡大して見たり…ゆっくり一緒に確かめていきます。「たべたい!」とのリクエストに、洗って包丁で切って、お鍋で茹でたグループもありました（パクパク美味しそうに平らげていましたよ）。どちらも小さな種なので、土を掘ったら、落とさないようにつまんでパラパラしないとイケません。ちょっとコツの要る作業、先生と一緒にしたり、自分で挑戦したりと、みんなで無事種まきを終わりました。



最後はお楽しみの水やりタイム。バケツに水を汲んで、すくってジャー！まだ暑さの残るテラスで、嬉しそうにはしゃぐ子どもたちでした。人参も大根もたくさん実りますように！

みんなでプランターを囲んで種まき



★★今年も楽しく集いました！母親懇談会★★

9月9日（日）、今年も“しょうざんリゾート わかどり”にて、母親懇談会を開催しました。当日は子どもたちも合わせて総勢51人の参加があり、開始早々から食べて喋って…とっても賑やか！自己紹介タイムも楽しかったですね。お世話いただいた代表のお母さん方、本当にありがとうございました。

5歳だよ



E さんの巻

「ダンベル体操」

はじめまして、E、5歳です。特技は“サッカーをすること”、趣味は“電車（車種から構造、駅アナまで笑）”です（本人談）。おしゃべり大好き、走ること大好き、弟ラブの明るいEです。

4月から、水曜日にお世話になっています。「明日は何曜日?」「明日の次は何曜日?」とひたすら楽しみに、そして楽しく通わせてもらっています。最近では妹と「あいあいさんごっこしよー!」と先生役、お友だち役になりきって遊んでいます。

Eは、先天性の水頭症を抱えて生まれてきました。その後遺症として脳性麻痺、視神経萎縮があり、斜視、乱視、遠視もあるのでメガネをかけています。少しずつ自分でできることが増えてきて、ひらがなや数字が読めるようになってきました。ただ、できないこと、苦手なことも出てきました。カタカナが読めない、妹がケンケンをしているのを見て「Eくんはできない」と言ったり。「練習したらできるよ」と励ましながら、そんな気持ちも大切にしたいです。

あいあい教室で、保育園で、生活の中で、「できた!!」をたくさん積み重ねていきたいなと思います。あいあい教室、先生方、お友だち、お母さんたちのご縁に感謝して、親子共々、色々な経験をさせていただける分、たくさん吸収して、成長していきたいです！これからもよろしくお願いします。

母

あいあいにはすっかり慣れ、この夏はプールでたくさん泳いだEくん。みんなで『大きなかぶ』の絵本を見て、かぶの引っぱり遊びをしたときは「だれかまごよんできてー」「どっこいしょ!」と大盛り上がり。悔しいときも楽しいときも全力。そのパワーでお友だちや先生と思いきり楽しんでいこうね。

Tさんの巻

はじめまして。今年4月から隔週水曜日に通園しています、T6歳です。

Tは産まれてすぐの頃、全身に血栓ができ、そのせいで脳内や足、硝子体などに出血が起きショック状態に陥りました。なんとか一命をとりとめましたが、脳性麻痺や点頭てんかん。発達運動後遺障害が残り、眼に関しては網膜剥離と白内障を併発して全盲となりました。後になって先天性プロテインC欠損症という、自然に血液が固まり、出血をするという病気であることが分かりました。そのせいで、Tは血栓を作っては出血を繰り返し、入院する度にどんどん病状が悪くなる一方でした。何もしてあげる事も出来ず、ただ見守るだけだったこの頃が一番辛かったです。

転機は2歳になる少し前。信頼できるドクターと出会えたことで、ドミノ肝移植という方法で、病気を完治させることができ、現在に至ります。生活する上で、何かと気を付けていかないといけない事も多く、「あいあい教室」へ通う事はハードルが高いと思っていました。ですが、先生やお友達が関わってくださることが凄く嬉しいみたいで、思っていた以上に楽しく通えています。本当にありがとうございます。これからも宜しくお願いします。

母

公園のブランコや夏のプール遊びを、友だちと一緒に楽しんだTちゃん。友だちの声がすると、じっと聞いて嬉しそう。音の鳴る玩具もお気に入り、上手にボタンを探して鳴らして遊んでいます。これからも、楽しいことをたくさん見つけて一緒に遊ぼうね！

「お父さんたちと遊ぼう」のご報告

9月2日(日)に「お父さんたちと遊ぼう」を行い、お母さんやきょうだいも合わせて14家族、総勢40人が集まりました。朝のあつまりで歌や手遊びを楽しんだ後は、4階のホールへ移動！音楽に合わせて、身体をたくさん動かして遊びました。横になったお父さんの膝に乗って“ひこうき”をしたり、

“ロンドン橋”では肩車やおんぶで進んだり…お父さんとのダイナミックな遊びを満喫しました♪締めくくりはあいあいへ戻り、お楽しみのスイカ割りです。大きなスイカを“どんな形？”“重いかな？”と触り、順番に挑戦！



最後はお父さんの一振りで見事に割れたスイカを、みんなでおいしく食べました。この行事は、お父さんにあいあいや子どもたちのことを知ってもらおう場のひとつ。これからも、その機会を大切に積み重ねていきたいと思います。

お楽しみのスイカ割り

“みんなで学ぼう！～就学・就園・放課後支援⑤～”

10～11月のテーマは、見えない・見えにくい子どもたちの「就学後の放課後（長期休暇）支援」についてです。今月は“学童”について、来月は“放課後等デイサービス”について取り上げます。9月には年中・年長児の在籍するグループを対象に、相談支援室 沖田所長による保護者学習会（「就学後の福祉サービス利用について」）を行いました。まずはその時の内容も含めて、あらためて放課後の支援について説明したいと思います。

＜見えない・見えにくい子どものための放課後等のサポート事業＞

① 学童クラブ（小学1～6年生）＊申請申込みが必要

地域の児童館にて、保護者の就労等で放課後を見守る大人がいない家庭の児童に、安全で安心な居場所づくりの場を提供する。

※児童館は乳幼児とその保護者、18歳までの児童が自由に来館できる児童福祉施設。

② 移動支援（単独では移動困難な全身性・視覚・知的・精神障がい、難病児童）

社会参加や余暇活動等の外出の際に、ガイドヘルパーが移動を支援する。

★同行援護：視覚に障がいのある方が対象。

★行動援護：てんかんやとび出し等、行動上の介助・支援の必要な方が対象。

★ほほえみプラン（通学支援型）：本来通学に移動支援は認められていないが、ひとり親家庭のお子さんや、バス通学が困難な医ケア児の場合を対象。

※医ケア児：痰の吸引や経管栄養等の医療的なケアが必要な子ども

③ ショートステイ（福祉型・医療型）

自宅介護が困難になったとき、家族の休息を目的に、短期間入所で食事や入浴等の介助が必要な障がいのある方を支援する。

④ 障がいのある中高生のタイムケア事業（市内在住の支援学校通学児）

保護者の就労等により放課後及び長期休暇中において見守りや介助が必要な障がい児を対象に、余暇活動の場や交流体験を広げる機会を提供し、地域生活を支援する。

⑤ 日中一時支援（心身に障がいのある児童）

指定事業所にて、一時的に見守り等が必要な障がいのある方を支援する。

⑥ 放課後等デイサービス（小学1年～18歳までの発達に配慮が必要な児童）

指定事業所にて、放課後や長期休暇における生活力の向上や居場所作りを支援。

■ “学童クラブ”の利用について

学童は日曜祝日・年末年始を除き、平日は学校終了時～18時半まで、土曜と学校の長期休暇中は8時～18時半まで開所しています。定員は施設の規模によりますが、概ね60名程度。利用には、保護者の就労及び集団での保護・育成が著しく困難でないことに関する要件を満たす必要があり、一定の利用料金が掛かります（利用時間や兄弟での複数利用、世帯の課税状況による）。障がいのある児童が登録をする際は、申請により「介助者派遣事業（障がいの程度に応じて介助者の派遣が行われる）」が利用できますので、申し込み時に問い合わせましょう。障がい手帳があると比較的配慮が得やすいです。利用申請は、希望する児童館等で書類を受け取り、提出します。家庭の状況はもちろんです。が、“放課後や長期休暇の居場所”という視点で、子どもが実際に過ごすことを想像し、事前に見学・相談しながら進めていきましょう。

続いて、先に触れた既存の社会資源だけでなく、たくさんの出逢いの中でサポートをつないできた先輩の体験談をご紹介します。

【保護者体験談】 Bさんのお母さん

はじめまして、Bの母です。Bは知的、運動、視覚等に障害があります。小学校は地域の支援学級に、この春からは支援学校の中学部に通っています。今日は学校以外でBが受けてきた支援を紹介させていただきたいと思います。

① 小学校まで

Bは3歳前まで歩けませんでした。が、保育所にお世話になりました。月曜から土曜の朝7時から夜7時まで目いっぱい預かっていただけました。おかげでフルタイムの仕事に復帰し、働き続けることができました。シッターさんも利用しました。近所のパン屋さんの知り合いの方で、あいあい教室への送りや、休日電車やバスで出かけるなど、助けていただきました。

② 小学校入学後

＜朝の登校支援、病後回復期の見守り等＞

ファミリーサポートセンターにお願いしました。登録制の有償ボランティアで13歳の誕生日まで利用できます。登校支援は、3人体制で6年間ほぼ毎日お世話になりました。病後回復期の見守りは、本来はサポーターさんのお家へ行くのですが、センターが配慮してくださり、自宅に来ていただいていた。出張中の学童からショートステイへの送りもお世話になりました。

＜放課後、土日、夏休みなど＞

6年間、主に学童保育所にお世話になりました。送迎に配慮いただいたり、人生初のお泊りも学童で経験させてもらいました。学童でいただいた学生ボランティアさんとのご縁は、今でも登校支援という形で続いています。5年生からは平日は放課後等デイサービス、休日は移動支援も使い始め、現在もお世話になっています。

後日、Bさんのお母さんからこんなお話を伺いました。「学童は地域の子もたちと一緒に、勉強ではない場面で活動できる貴重な場所。その中で、他の子どもの保護者や他の障がいを持つ子どもの保護者とつながりができたことはあたたかい財産になった」と。お付き合いは、今も続いているそうです。「学童は一つの制度としてあるものだから、障がいがあっても思いきって門戸をたたいてみたらいいと思う」そんな心強いメッセージもいただきました。

自分たちの暮らす地域で、顔が見える関係を持っている。たくさんのお出逢いは、子ども自身が色々な人と関わって生きる力に必ずつながっている。Bさんのたくましい成長にあらためて実感します。日々の生活にそんな視点も持ちながら、就学に向けてのイメージを持てるといいですね。

●あとがき●

訳あって、いろいろ新しいことに挑戦中。「苦しいときほど挑まんかい!!」と胸の内でひたすら唱えながら、相当ストイックに挑み中です。え？もっと詳しく？それはヒミツ♥
とだ

★ホームページ版「あいあいつうしん」がご覧になれます★

京都ライトハウスのホームページ内、あいあい教室のページから「あいあいつうしん Web版」のコンテンツにアクセスしてください。写真がカラーで掲載されています。Web版もぜひご覧ください！

編集人 古川 千鶴 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11 社会福祉法人 京都ライトハウス 視覚支援 あいあい教室 Tel:075-462-4462